

TACの^{初学者向け}戦略的カリキュラム

極限まで無駄を省いた効率的・戦略的なカリキュラム!『TACの

ここが
TAC

INPUT (講義)+OUTPUT (答練・模試) +フォロー制度

TACの本科生を受講すると、合格に必要な講義(INPUT)、本番を想定した実践トレーニング(OUTPUT)、充実のフォロー制度が全てセットでついてきます。また、講義で使用するテキストや教材も全て受講料に含まれるので、安心して学習を進めることができます。TACは皆様の合格をサポートするための努力は惜しみません。

ここが
TAC

圧倒的なOUTPUT (問題演習) のボリューム!

TACのカリキュラムの特徴はOUTPUT(問題演習)を充実させていることにあります。TACのカリキュラムでOUTPUTを行うだけで

短答式⇒本試験約10回分の問題演習

論文式⇒本試験約10回分の問題演習

【※1年本科生(論文直前答練付)、2年本科生(+C)の場合】
行うことができます。充実のOUTPUTで本試験への対応力を養ってください。

ここが
TAC

法改正情報もきっちりフォロー!

学習途中で法改正があっても安心。目標年度に関わる法改正の情報は講義の中やレジュメできっちりとフォローします。また、大きな法改正が実施される場合には、補講や特別対策講座を実施し、合格に必要な情報は全て提供していきます。

ここが
TAC

本試験の傾向を徹底的に分析!

TACでは、弁理士試験合格者のみで構成される専任講師陣が、日々の情報収集と試験傾向の徹底的な分析を行っています。その分析から導き出される結果に基づいてカリキュラムのアップデートを繰り返すことで、本試験合格に最適な講義内容・構成を提供することができるように努めています。「本試験合格に徹底的にフォーカスしたカリキュラム」を是非体験してください。



合格に必要なスキル

TACでは、弁理士試験合格のために必要となるスキルを明確化し、そのスキルをもれなく習得できるようにカリキュラムを構成しています。

短答式試験 合格のための8大スキル

- ①短答式試験に必要な知識の広さ・深さを知る
- ②問題の解法テクニックを習得する
- ③過去問の出題傾向・出題難易度を知る
- ④過去問を解く
- ⑤法律条文を正確に理解する
- ⑥問題文を読み解く力を習得する
- ⑦問題演習を受ける
- ⑧本試験に対応できるスピードを身につける

論文式試験 合格のための10大スキル

- ①論文試験に必要な知識の広さ・深さを知る
- ②過去問の出題傾向・出題難易度を知る
- ③法律条文・判例の知識を習得する
- ④論文答案の書き方のルールを知る
- ⑤本試験合格レベルの答案を知る
- ⑥問題文を読み解く力を習得する
- ⑦答案構成(答案の骨子作成)力を習得する
- ⑧制限時間内に仕上げる力を習得する
- ⑨答案の評価(添削)を受ける
- ⑩添削答案の復習をする

各コースに含まれる講義一覧

	基本講義	短答基礎講義	到達度テスト	短答逐条講義	短答的中答練	短答ファイナルチェック	短答式全国公開模試	論文基礎講義	論文応用答練	論文的中答練	論文直前答練	論文ファイナルチェック	論文式全国公開模試
講義回数	26回	10回	2回	15回	10回	2回	3回	14回	10回	12回	8回	3回	3回
2年本科生	●	●	●	●	●	●	●	●※	●	●	●	●	●
2年本科生+C★	●	●	●	●	●	●	●	●※	●	●	●	●	●
1年本科生	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1年本科生<論文直前答練付>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
短答マスター本科生	●	●	●	●	●	●	●						
論文マスター本科生								●	●	●	●	●	●
基本バック	●	●	●										
短答直前バック					●	●	●						
論文直前バック										●	●	●	●

※「2年本科生」、「2年本科生+C」を受講される場合、論文基礎講義は、2014年合格目標と2015年合格目標の2回受講することができます。
★「2年本科生+C」は、2014年合格目標「論文選択科目対策 著作権法トータルバック」がカリキュラムに含まれています。